

⑩ 日本国特許庁 (J P)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭61-46612

⑬ Int. Cl.

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和61年(1986)3月28日

G 05 G 1/14
B 60 T 7/06
G 05 G 5/128513-3J
7366-3D
8513-3J

審査請求 未請求 (全2頁)

⑮ 考案の名称 車両用チルト式操作ペダル

⑯ 実 願 昭59-132522

⑰ 出 願 昭59(1984)8月30日

⑱ 考 案 者 森 垣 嘉 夫 豊田市喜多町5丁目52番地
⑲ 出 願 人 豊田鉄工株式会社 豊田市細谷町4丁目50番地
⑳ 代 理 人 弁理士 池田 治幸 外2名

㉑ 実用新案登録請求の範囲

基端部において第一軸心回りに回動可能に設けられ、先端部において踏力加えられるペダルアームを、それら基端部と先端部との中間部分で分割して成る分割式の車両用チルト式操作ペダルであつて、

基端部側の第一部分と

該第一部分に対して前記第一軸心と平行な第二軸心回りに相対回動可能に連結された先端部側の第二部分と

前記第1部分および第2部分の一方に設けられた係合穴と、

前記第1部分および第2部分の他方に、前記第一軸心と平行かつ前記第二軸心とは位置の異なる第三軸心回りに回動可能に設けられ、かつ該第三軸心から偏心した位置において該第三軸心と平行に延び出して前記係合穴に係合する係合軸部を備え、該係合軸部の前記第三軸心回りに回動によつて前記第一部分および第二部分の相対角度位置

を変化させる位置調節部材と、

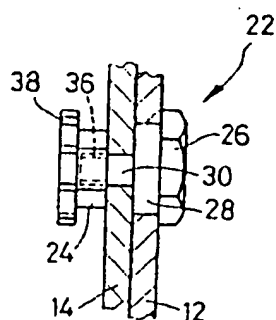
該位置調節部材の回転位置を固定する状態と回転を許容する状態とへ操作可能な固定手段とを含むことを特徴とする車両用チルト式操作ペダル。

図面の簡単な説明

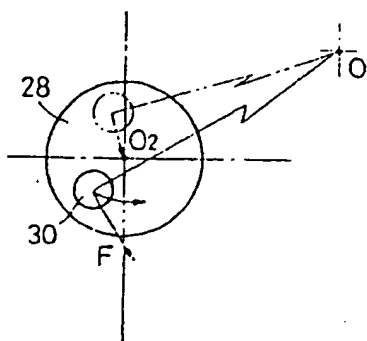
第1図は、本考案の実施例であるチルト式操作ペダルを一部分解して示す斜視図であり、第2図は、同じチルト式操作ペダルの要部断面図、第3図は、第1図、第2図に示す操作ペダルの作用を説明するための説明図である。第4図は、本考案の他の実施例であるチルト式操作ペダルの要部斜視図である。

10、41：操作ペダル、12：第一部分、14：第二部分、22、42：位置調節部材、24：ナット、30：係合軸部、32：長穴（係合穴）、46：係合歯、48：爪部材、52：スプリング、54：操作レバー。

第2図

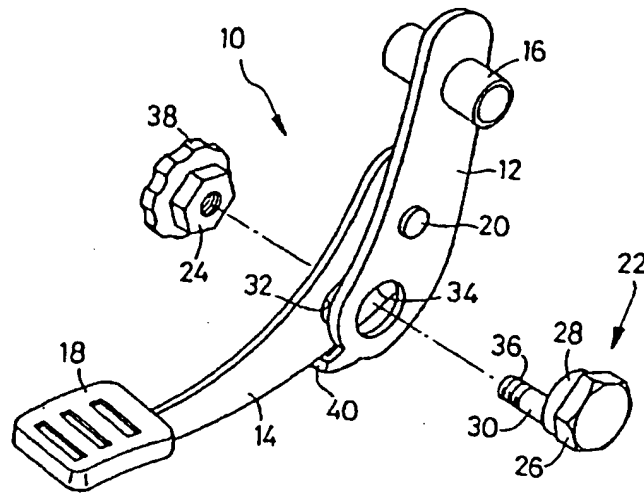


第3図

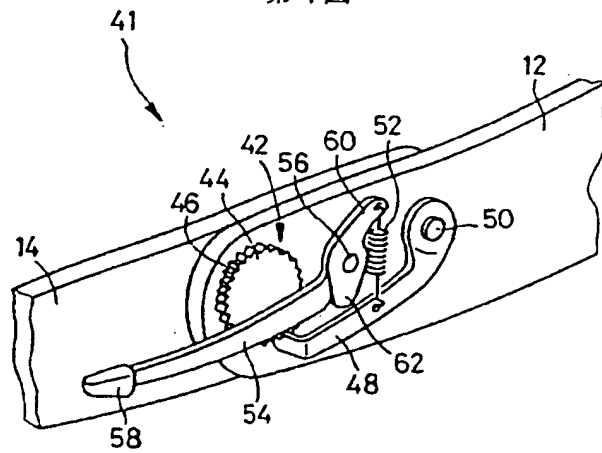


KSR 003054

第 1 図



第 4 図



BEST AVAILABLE COPY

KSR 003055